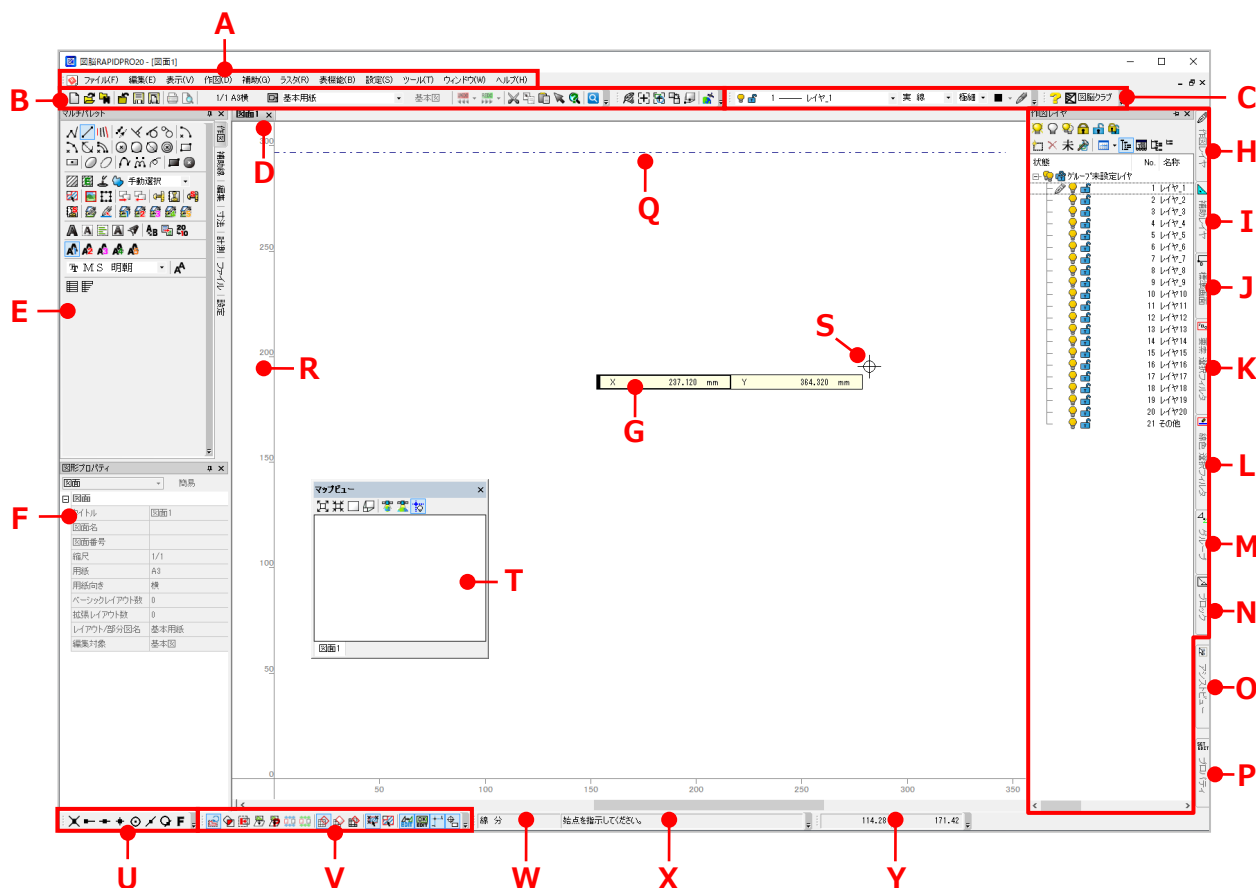


1.2 図脳 RAPIDPRO20 の画面構成

図脳 RAPIDPRO20 を起動すると、以下の画面が表示されます。
ここでは、画面周りの代表的な部分の名称とその機能の概要を説明します。

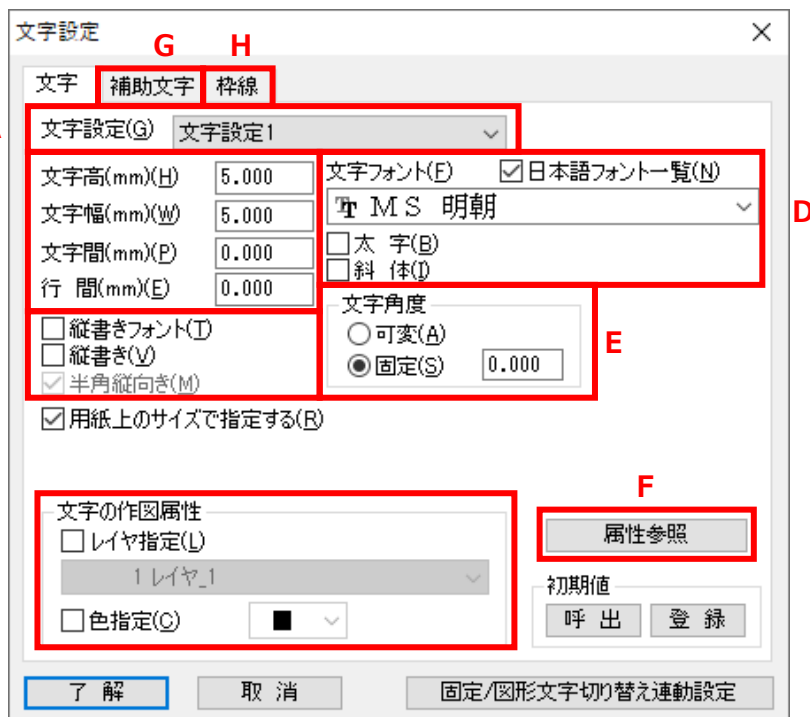


項目	説明
A メニューバー	各メニューをクリックすると、コマンドがドロップダウンリストで表示されます。
B ツールバー	各コマンドのアイコンを集めたパレットです。
C 作図切替ツールバー	作図やレイヤの操作に必要なコマンドを集めたパレットです。
D 図面ウィンドウ	図面を作図する画面です。
E マルチパレット	複数のツールバーを一つにまとめたものです。タブをクリックしてツールバーを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> マルチパレットの活用方法については、「5.4 画面まわりのカスタマイズ」の「ツールバーをマルチパレットへ追加する」を参照してください。
F 図形プロパティ	選択モードの有効時に選択した図形のプロパティを表示し、図形を編集できます。 <ul style="list-style-type: none"> 図形プロパティの活用方法については、「4.1 図形プロパティ」を参照してください。

2.2.3 文字の設定

これから作図する文字の設定を行います。すべて用紙上（印刷上）の大きさで指定します。

▶ [設定] - [文字設定] コマンド (A)



項目	説明
A 文字設定	文字のスタイルを設定 1～5 まで、5 つ登録できます。
B 文字高・幅など	文字の高さ、幅などの設定を行います。
C 文字の作図属性	文字を作図するレイヤや図形色を一覧から選択します。チェックを外した場合は、現在の作図レイヤ図形色で作図されます。
D 文字フォント	文字フォントの設定を行います。インストールされているフォントを一覧から選択します。[太字] [斜体] [縦書き] [縦書きフォント] は、必要な項目にチェックを付けます。
E 文字角度	[可変] は、文字を任意の角度で入力できます。[固定] は、文字配置時に角度指定がなく自動的に設定した角度で配置されます。
F 属性参照	[属性参照] ボタンを押すと、図面に作図されている文字の属性を取得できます。
G [補助文字] タブ	[補助] - [補助文字] コマンドで作図する補助文字について設定します。
H [枠線] タブ	[作図] - [文字] - [枠付き文字] コマンドで作図する枠線について設定します。

補足

- 変更した設定内容で常に利用したい場合は、[初期値] 欄の [登録] ボタンを押し、ファイル名を書き換えずにそのまま上書きで保存します。変更内容を登録しなす場合は、コマンドごとに行います。
- 初期値の詳細については、「2.2.6 初期値の登録」を参照してください。

3.1.5 文字を作図する

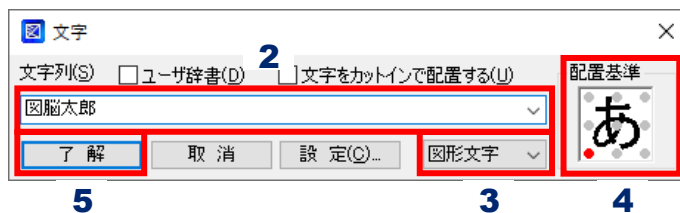
表題欄を作図する

1. [作図] - [文字] - [文字] コマンド (A) をクリック

メッセージ

「必要な項目を設定してください。」

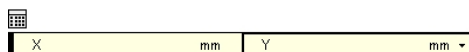
2. [文字列] に「図脳太郎」と入力
3. [図形文字] を選択
4. [配置基準] 欄で左下基準を選択
5. [了解] ボタンを押す



メッセージ

「基準点を指示してください。」

ダイナミックガイド

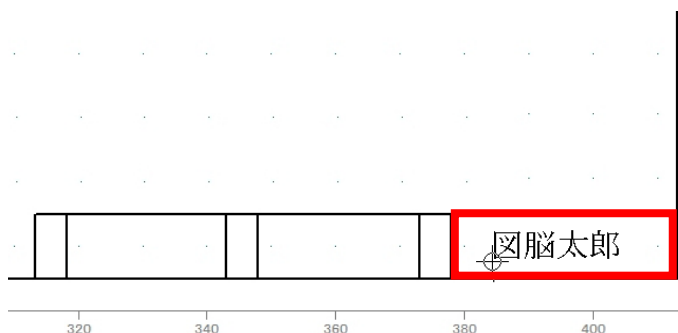
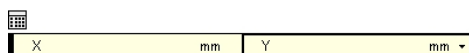


6. 枠内に収まる位置でクリック

メッセージ

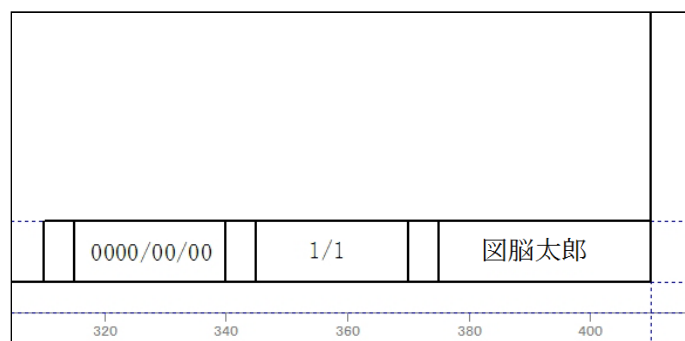
「基準点を指示してください。」

ダイナミックガイド



7. [Esc] キーを押す

8. 同様に「0000/00/00」、「1/1」と枠内に作図します



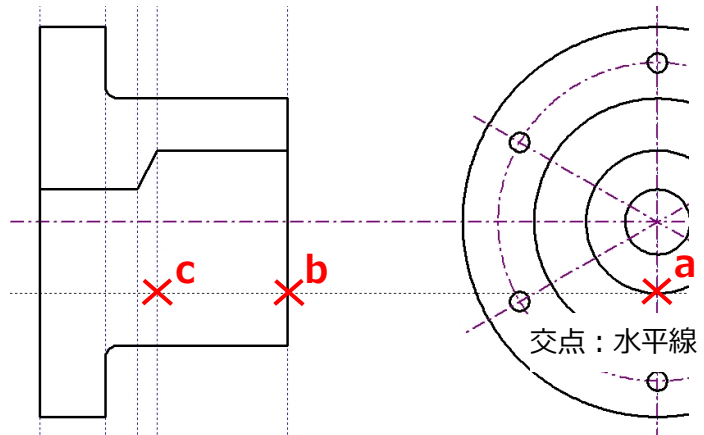
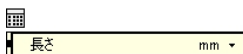
9. 右クリックメニューの [コマンド終了] をクリック

7. 交点 (a) 付近にカーソルをあて、表示された [交点: 水平線] ダイナミック補助線と垂直補助線との交点 (b) をクリック

メッセージ

「通過点又は、長さを指示してください。」

ダイナミックガイド

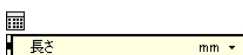


8. 交点 (c) をクリック

メッセージ

「通過点又は、長さを指示してください。」

ダイナミックガイド

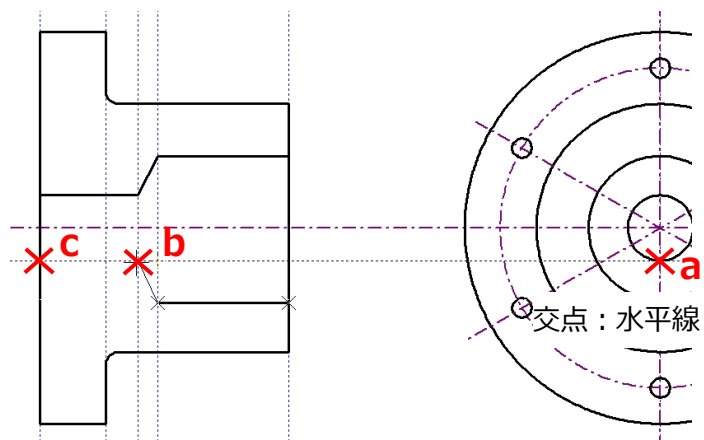
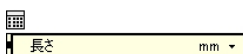


9. 交点 (a) 付近にカーソルをあて、表示された [交点: 水平線] ダイナミック補助線と垂直補助線との交点 (b) をクリック

メッセージ

「通過点又は、長さを指示してください。」

ダイナミックガイド

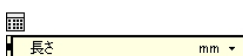


10. 交点 (c) をクリック

メッセージ

「通過点又は、長さを指示してください。」

ダイナミックガイド



4.1 図形プロパティ

図形を編集する機能として図形プロパティ機能があります。編集したい図形を選択後、[図形プロパティ]画面で図形のサイズ変更や、レイヤ・線種・線幅・線色などの属性が変更できます。

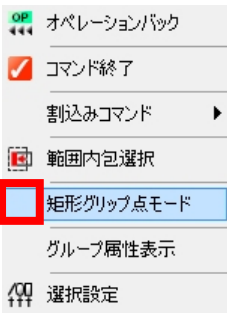
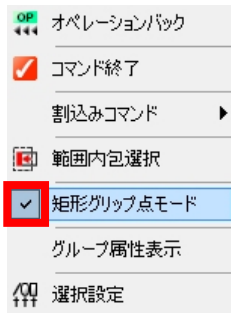
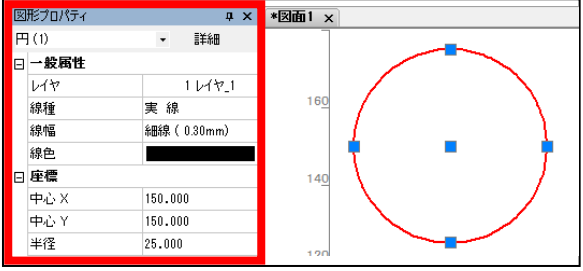
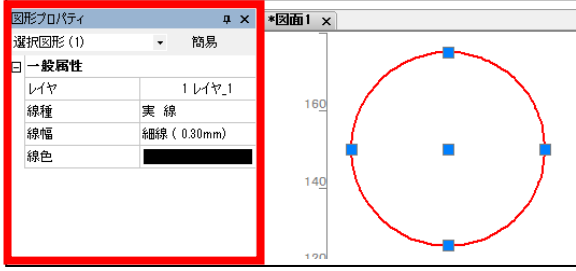
寸法や引出線は、図形選択時に表示されるグリッ点をクリックすることで位置や長さを変更できます。この機能で編集全般の作業ができますので、従来であれば、「[編集]メニューのコマンドをクリックしてから図形を選択」という手順で行っていた編集作業を短縮できます。

① 補足


- ・ [図形プロパティ]画面が画面上に表示されていない場合は、[表示] - [多機能ビュー] - [図形プロパティ] をクリックして表示します。

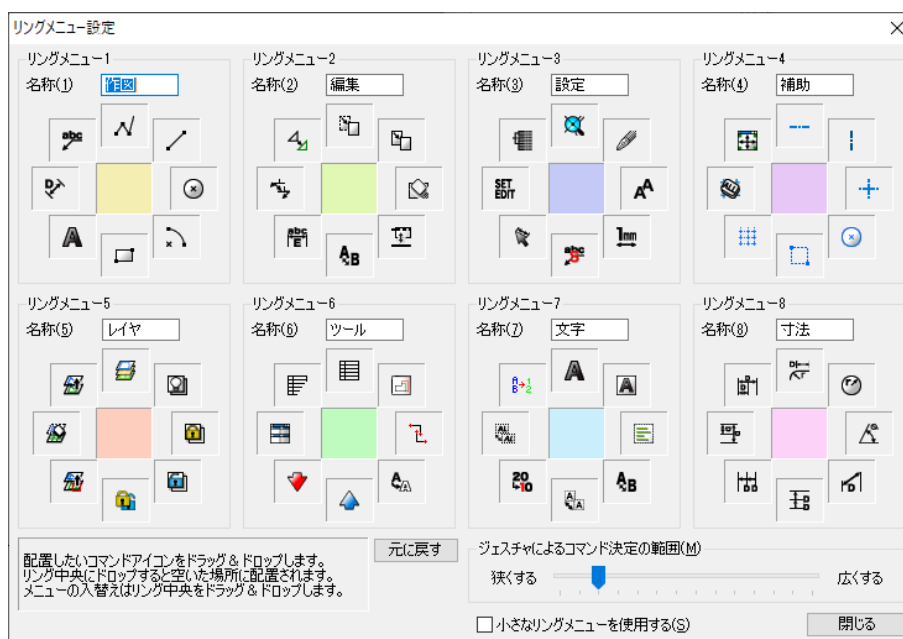
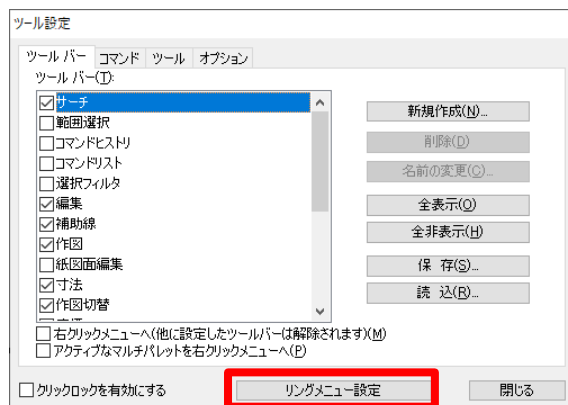
4.1.1 図形プロパティのモード

図形プロパティには2つのモードがあり、モードによって編集できる内容が異なります。選択コマンドを実行中に[スペース]キーを押すことで、[図形グリッ点モード]と[矩形グリッ点モード(矩形選択)]を切り換えることができます。また、右クリックメニューの[矩形グリッ点モード]にチェックを付けると[矩形グリッ点モード]となり、チェックを外した場合は[図形グリッ点モード]となります。

図形グリッ点モード	矩形グリッ点モード
<p>右クリックメニューのチェックが外れているとき</p> 	<p>右クリックメニューのチェックが付いているとき</p> 
<p>それぞれの図形に対してグリッ点(青い四角形)が表示されます。図形の変形操作や、図形プロパティを使った図形属性の変更などが行えます。図脳 RAPIDPRO17以降に搭載された機能です。</p> 	<p>選択図形をすべて包含する矩形に対してグリッ点が表示されます。図形のコピー、移動、複写などの操作ができます。図脳 RAPID16PRO以前のバージョンの選択コマンドと同等の機能です。</p> 

5.1.1 リングメニューの設定

[ツール] - [ツール設定] コマンド () をクリックし、[リングメニュー設定] ボタンを押して、[リングメニュー設定] ダイアログボックスを表示します。



- [ツール設定] ダイアログボックスの [コマンド] タブをクリックし、リングメニューに入れたいアイコンをドラッグ&ドロップします。外側の 8 つの四角の部分には直接配置でき、真ん中の色のついた四角に配置すると空いている場所がある場合は埋めるように配置されます。
- 不要なアイコンを削除する場合は、[リングメニュー設定] ダイアログボックスから不要なアイコンを作図画面へドラッグ&ドロップします。